

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【公表番号】特表2009-543898(P2009-543898A)

【公表日】平成21年12月10日(2009.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2009-049

【出願番号】特願2009-519539(P2009-519539)

【国際特許分類】

C 10 G 11/18 (2006.01)

【F I】

C 10 G 11/18

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年3月18日(2013.3.18)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0025

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0025】

さらに本発明の目的は、外部源から供給される原料流が、促進された明反応生成物流を提供するためにするためにさらに分解されるプロセスを提供することにある。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0027

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0027】

本発明の別の目的は、重質炭化水素、軽油及び／残油原料を高利率的に分解して、ガソリン、エチレン、プロピレン、ブチレンを含む軽質炭化水素生成物流を生成する、斬新なプロセスを提供することであり、反応生成物流は別々に回収することができ、個々の成分を回収するためにさらに精留され、又は、さらなる精留用の FCCから廃液に統合される。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0040

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0040】

本発明の改善された付随的なプロセスは、従来の FCCユニットで利用することができ、それらは、上向き又は下向き流反応においてライザー(立ち上がり)分解、又はベッド(床)分解を備えているか否かに関わらない。好ましい軽質炭化水素内に原料を触媒活性用に変化させ、特に、全部のユニット操作のために促進されたプロピレン生産量を与るために、利用される。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0043

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0043】

典型的なFCC触媒添加物とともに又はなしで、この処理促進における使用に適している。未反応の出発物質及び生成物から触媒の分離を最適化するために、迅速選別が好ましい。好ましい迅速選別を達成できる最適な装置が、USP 6,146,597 (特許597) に開示されており、その開示の全体が本明細書に組み込まれる。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0056

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0056】

図2を参照して、明反応生成物流は、ライン34を介して回復される。本発明の方法にしたがって、エチレン、プロピレン、ブチレン、ガソリン及び他の副生成物を含む軽質炭化水素反応生成物流は、分解反応及び未反応試料を形成し、回収され、分離された回復セクションまたはさらなる精留及び最終的な再生用のFCCユニットから反応生成流を組み合わせる。

【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0065

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0065】

未反応の重油試料及び触媒混合物と生成物が分解された炭化水素の反応蒸気は、下降流反応器の残留物を介して、反応器の底部で急速セパレータ部35の内部に、急速に流れる。その反応ゾーンにおける混合物の滞留時間は、その技術において知られている手順及び装置に関連して制御される。

【誤訳訂正7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0074

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0074】

その再生器20において、下降流反応器30のゾーン33内で分解している重油及び重質炭化水素の分解から一般的なFCCプロセスの第1の反応ゾーン(10~14)において生成された副生成物コークスの燃焼から生成された熱は、触媒に移送される。その再生容器20は、従来知られた外観デザインとすることができる、この発明の下降流反応ゾーン及び促進されたプロセスを用いることができる。

【誤訳訂正8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0078

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0078】

このZSM-5添加物は、一般的なFCC触媒におけるマトリックス構造及び分解触媒ゼオライトと混合され、付随的な下降流反応器における軽質オレフィン生成物を最大限に利用する。重油の共通処理のための既存のFCCプロセスへの促進としての本発明の特に優れている点は、さらなお下流工程のための各反応器からの生成物の別々の再生を行うことができる。